



久中だより

11

いわき市立久之浜中学校通信

No.11

平成28年1月12日発行



希望にあふれた新年のスタートです。～平成28年元旦 校舎屋上からの初日の出～

それぞれの思いを胸に過ごした冬休み。3年生は、目標とする進路の実現に向け、必死に受験勉強に取り組んでいたものと思います。1・2年生も寒い中、部活動に励むなど、心と体を鍛え、一回り大きく成長しました。3学期の活躍が楽しみです。

始業式では、各学年の代表生徒が、3学期の目標を発表しました。その内容は、下のとおりです。新年を迎えて生徒はそれぞれの希望や目標を抱いています。その実現に向け、全教職員の力を結集し指導・支援に努めていきます。

1年：遠藤 大空くん

3学期の抱負は3つあります。まず、忘れ物をなくすことです。自分自身がきちんと確認するよう心がければ達成できるはずです。次に、休み時間を騒がしくなく落ち着いて過ごすことです。みんな仲がよいあまり騒がしくなっているように思いますが、その場の状況を考えながら過ごせるようにしていきたいです。3つ目として、2分前着席を徹底したいです。これも一人一人が自覚することで達成できるはずです。学年のしめくりになる3学期は、クラス全体がひとつになって成長できるように頑張っていきたいです。そして、2年生へのステップを着実に歩んでいきたいです。

2年：佐藤 嘉晃くん

3学期の抱負として、1つ目は、忘れ物をなくすことです。3学期は規律委員としての自覚を持って忘れ物をなくしていきたいです。2つ目は、学習についてです。僕は英語が1年生の頃から苦手でした。特に、英文を自分でつくるのが苦手です。また、英語のスペルを覚えることはできますが、その意味を十分に理解していない時があります。3学期も難しい単語や英文が出てくると思うので、授業についていけるよう毎回の復習・予習に着実に取り組んでいきたいです。さらに、国語の品詞の分類や活用も苦手なので、3年生に進級する前の3学期に確実に身に付けていきたいです。これらを達成して、よい状態で3年生に進級できるようにしたいと思います。

3年：吉葉 魁斗くん

この冬休みは、午前7時から午後5時くらいまで受験に向けた勉強をしていました。3学期が始まった今日からは、時間の使い方を工夫して勉強をしていこうと思っています。また、冬休み中は病期にかかることもなく過ごせたので、受験まで病気や怪我をせずに無事に過ごしていきたいです。3学期は短いので、悔いの残らないように残された中学校生活を過ごしていきたいです。そして、3年生の一番大事な受験に全員勝利することを目指して努力していこうと思います。自分の第一志望の高校に入るために今まで勉強してきたので、受験当日は全力を出してテストを乗り越えたいです。1分1秒を無駄にしないよう卒業までの残りの40日余りを過ごしていきたいです。

久中の校歌4番の歌詞を思い出してください

久之浜中学校校歌

作詩 豊田 要三
作曲 水野谷 謙一郎

1 わ かばーにー は ゆる お おばーや ま
5 き たえーしー か らだ こ のこーこ ろ

1 じ ゆうーのー ひ かり さ すと ころ
5 み とせーのー は るの め ぐりき て

1 わ がま な び やは こ こにーし て
5 す ぎし おもーい を む ねにーひ め

1 か ーたき あ ゆみに きょうーど う の ー
5 ま なび の に ーわに わかーれ ゆ く ー

1 し んーりの みちを つらーぬ かん
5 あらーた な みち に さちーあれ よ

- | | |
|--|--|
| 1 若葉に映ゆる 大場山 自由の光 さすところ わが校舎は ここにして 固き歩みに 協同の 真理の道を 貫かん | 4 三森山の 雲白く 銀星空に さえわたり 高き理想を 仰ぎ見て 努めし道に 責任を とりて進まん わが集い |
| 2 びようぼうはるか 幾千里 木奴美ヶ浦の 白砂に ひろき心を 求めつつ 逆巻く怒濤を 乗り越えて ああ我行かん 海原を | 5 鍛えし体 この心 三歳の春の めぐり来て 過ぎし思いを 胸に秘め 学びの庭に 別れ行く 新たな道に 幸あれよ |
| 3 紅葉に煙る 秋風に 清き谷間の 流れ水 愛と誠の いつくしみ 自ら行ない 学びたる われら健児の 意気高し | |

久之浜中学校の校歌は、ご覧のとおり1番から順に4番まで春夏秋冬、四季折々の久之浜の自然と育みたい生徒の姿が散りばめられ、そして5番には卒業を迎えての決意がみなぎっています。本校では、集会や行事の折に校歌を全員で歌いますが、1番から5番まで全て通してでなく、四季に応じて、冬の時期ならば1番と4番というように歌い継いできました。

ある日の朝会で、音楽の教員から『4番の歌詞で「三森山の雲白く」とありますが、音楽科で引き継いでいる楽譜には、「三森山の雪白く」と記されているものもあるんです。どちらが正確なのでしょうかね〜。』という疑問が寄せられたので、久之浜中学校の学校要覧をさかのぼって調べてみました。

すると、思いもよらないことが判明しました。昭和37年度までの校歌の歌詞は、「三森山の雪白く」と記されていましたが、昭和38年度から「三森山の雲白く」と記されるようになり現在まで受け継がれてきたのです。

雪から雲に意図的に歌詞を変えたのか、それとも印刷ミスなのか、50年以上前のことなので容易に判断が付きません。また、「銀星空に」とありますが、ルビのとおりぎんぼしなのかぎんせいなのか定かではありません。

素晴らしい校歌だからこそ、正しく後世に歌い継いでいきたいと思います。地域の方々や卒業生の皆さんで、校歌4番の歌詞についてお分かりの方がいらっしゃったら、ご教示いただけるとありがたいです。

「いわき青少年の人工妊娠中絶・性感染症撲滅キャンペーン」標語コンクールにおいて、本校から多数の受賞者が選ばれました。いずれの作品も「生と性」に真剣に向き合い、それぞれの考えを標語で表現したもので、高い評価をいただきました。受賞者は、次のとおりです。最優秀賞：遠藤 未稀さん、優秀賞：三本木 梨央さん、佳作：田村 菜摘さん、根本 裕斗くん、齊藤 聖也くん(全員2年生)

「第35回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会」に多数の作品を出品したことによる感謝状をいただきました。また、2年の三本木 梨央さんが奨励賞を受賞しました。本校では、今回の受賞を励みに今後も人権思想の高揚を図っていきたいと思います。

【教育目標】

進んで学習に励み、学力の向上を目指す生徒
心身ともに健康で、たくましい生徒
礼儀正しく、心豊かな生徒



【校訓】
協力
勤勉
飛躍

福島県いわき市立久之浜中学校

〒979-0333

福島県いわき市久之浜町久之浜字大場69番地

TEL 0246-82-3021

FAX 0246-82-3026

E-mail: hisanohama-jh@city.iwaki.fukushima.jp